

ふじやま国際学院 4つのポリシー

アセスメント ポリシー (AsP) 教育に関する各種データ、資料収集、分析、点検、評価のポリシー	評価は、学習到達度、出席率、進路実績、授業評価アンケート等の客観的データに加え、学生・教職員からの意見やアンケート結果などの主観的データを活用し、多面的な視点から学修成果及び教育成果を評価・分析します。 評価結果は本校ウェブサイトで公表するとともに、翌年度の事業計画及び教育課程（到達目標、Can-do、シラバス、授業内容、評価方法等）の改善に反映します。また、評価結果が80%未満となった評価分野については改善計画を策定し、校長の責任のもと、評価実施後おおむね2年以内に改善を図ります。 本校は、このPDCAサイクルを継続的に実施することにより、日本語教育の質保証と教育内容の向上に努めます。なお、自己点検・評価に関する記録及び関連資料は5年間保存します。
ディプロマ ポリシー (DP) 卒業認定の方針	ふじやま国際学院は、日本語教育を通じて、学生が自律した学習者・自律した個人として成長し、日本社会への理解を深め、進学後も主体的に学び続けることのできる力を身に付けることを目指します。 本校では、言語知識の習得だけでなく、多様な場面で適切に日本語によるコミュニケーションを行う能力を養成するとともに、自ら課題を発見し、解決へ向けて主体的に行動できる力を育成します。 課程の修了にあたっては、所定の教育課程を履修し、各科目において定められた到達基準を満たすことに加え、在籍期間を通じて十分な出席状況を維持し、日本の法令および本校の学則を遵守していることを求めます。 これらの要件を満たし、本校が定める修了・卒業認定を受けた学生に対して、課程の修了および卒業を認定します。
カリキュラム ポリシー (CP) 教育過程編成・実施の方針	ふじやま国際学院は、学生一人ひとりの日本語能力や学習歴に応じて段階的に学習できる教育課程を編成し、進学に必要な日本語運用能力と主体的な学習能力の育成を目指します。 教育課程は、日本語能力を基準としたレベル別クラス編成とし、入学時のプレースメントテスト等により適切な学習環境を提供します。また、学習状況に応じて学期ごとにクラス編成を見直し、それぞれの学生に最適な教育を実施します。 授業は、「総合日本語」「漢字」「主体的な聴解」「主体的な読解」「試験対策」を体系的に配置し、知識の習得だけでなく、実際の場面で活用できる日本語運用能力を養成します。各コースでは、日本語教育の参照枠に基づき、入学時の能力から最終的にB2レベルを目標として教育を行います。 学習成果は、定期試験だけでなく、授業への取組状況、提出成果物、パフォーマンス評価などを総合的に評価し、学生が継続的に学習成果を高められるよう支援します。また、教育内容や授業方法については自己点検・評価を毎年実施し、教育の質の向上と継続的な改善に努めます。
アドミッション ポリシー (AP) 入学者受け入れの方針	ふじやま国際学院は、日本の専門学校等への進学を目標とし、日本語能力の向上と主体的な学習に意欲を持つ学生を受け入れます。 本校では、主として非漢字圏の日本語学習者を対象としていますが、本校の教育理念や教育方針を理解し、学習目的が明確である者については、出身国・地域を問わず受け入れます。 入学者の選考では、日本語能力だけでなく、基礎学力、学習意欲、学習継続能力、進学目的の明確性、留学生生活を継続するための経済基盤、日本の法令を遵守する姿勢などを総合的に評価します。また、本校の教育課程を履修するために必要な日本語能力および学習能力を有し、将来の進路実現に向けて主体的に努力する意思を持つ者を求めます。 本校は、公正かつ適正な入学者選考を通じて、教育理念に共感し、日本社会の一員として成長する意欲を持つ学生を受け入れます。

自己点検評価項目	AsP	DP	CP	AP	備考
1-1 教育理念・目標	○	○	○	○	全ポリシーの基盤
1-2 理念・目標の周知		○	○	○	ポリシーの共有
2-1 運営体制	○		○	○	実施体制
2-2 運営方針・事業計画	○	○	○	○	学校運営への反映
2-3 ガバナンス	○		○	○	質保証体制
3-1 教育課程編成	○	○	◎		シラバス・教育課程
3-2 成績評価・進級・修了	◎	◎	○		DPとAsPの中心
3-3 教員研修	○		◎		教育の質向上
3-4 教育課程改善	◎	○	◎		PDCA・教育改善
3-5 学習者意見の反映	◎	○	◎		授業改善
4-1 日本語能力・到達度	◎	◎	○		学修成果評価の中心
4-2 進路実績	◎	◎	○		教育成果評価
5-1 学習・進路支援	○	○	◎		学修支援
5-2 健康・生活支援		○	○		学修継続支援
5-3 防災・緊急対応			○		教育環境
6-1 施設設備			◎		教育環境
6-2 教材	○		◎		教材評価
6-3 学習環境	○		◎		学習環境評価
7-1 入学者募集	○			◎	入学選抜の検証
7-2 学校情報提供	○			◎	募集活動の評価
7-3 定員管理	○		○	◎	教育の質保証
8-1 財務基盤			○		教育継続基盤
8-2 予算・収支			○		教育活動基盤
8-3 会計監査			○		ガバナンス
9-1 法令遵守	○	○	○	○	全体の質保証
9-2 個人情報保護	○		○	○	信頼性確保
9-3 自己点検・公開	◎	○	○	○	AsP・内部質保証の中心
9-4 ハラスメント防止		○	○	○	学修環境保証
9-5 エージェント管理	○			◎	募集の質保証
10-1 地域・社会貢献	○	○	○		教育成果・社会評価
10-2 ボランティア活動	○	◎	○		卒業時資質・成果評価
11-1 教育課程への反映	◎	○	◎	○	4ポリシーをつなぐ中心項目
11-2 PDCA	◎	○	○	○	継続的改善

各ポリシーの該当項目

アセスメント・ポリシー（AsP） 3-2、3-4、4、9-3、11が中心

ディプロマ・ポリシー（DP） 3-2、4-1、4-2が中心

カリキュラム・ポリシー（CP） 3、5、6、11が中心

アドミッション・ポリシー（AP） 7が中心